

市 民 部

市民部

平成22年度（2010年度）6月補正予算案の概要

（1）予算のポイント

◆予算編成にあたっての背景・課題

・鶴川駅北土地区画整理事業の完了（平成19年3月）に伴い、土地区画整理地内の市有地に、多様な人々の交流活動を通じて、駅前地区の活性化に寄与する公共施設の設置が求められています。

施設建設の検討にあたっては、市民とともに検討を進め、平成20年度に「鶴川駅前公共施設基本計画」を策定し、これをもとに基本設計・実施設計を行いました。

・すべての市民が安心して安全に暮らせるまちの実現のため、体感治安の改善や、災害及び様々な危機に対する十分な備えが求められています。

◆予算編成の考え方

・中期経営計画の重点事業である「鶴川駅前公共施設整備事業」の達成に向け、建設工事に着工します。

・安全対策分野では、安心・安全なまちを目指して、犯罪発生件数の多い繁華街に重点をおき、その治安改善に取り組みます。防災分野では、中期経営計画の重点施策である「災害に強いまちをつくる」ために、非常時の迅速な情報の収集・提供に向けた整備等を推進します。

◆予算編成で重視した取組

- 1 市民・地域との協働の推進
鶴川駅前公共施設整備事業の推進
- 2 繁華街の治安対策
・ 町田駅周辺中心市街地の防犯設備設置への補助
- 3 非常時の情報連絡体制の整備
・ 防災行政無線デジタル化の基本設計

◆その他

- 中期経営計画重点事業
- 災害対策の強化
 - ・ 防火貯水槽設置に向けた調査
 - ・ ヘリサインの整備

(2) 6月補正予算総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項目	補正前の額	補正額	合計	補正の内容
2	総務費				
1	総務管理費				
10	生活文化費	181,931	15,000	196,931	安全対策費
12	市民フォーラム費	148,493	0	148,493	
13	支所・市民センター費	335,052	519,605	854,657	鶴川駅前公共施設整備費
3	戸籍住民基本台帳費				
1	戸籍住民基本台帳費	29,839	0	29,839	
2	外国人登録費	332	0	332	
3	民生費				
5	災害救助費				
1	災害救助費	840	0	840	
7	商工費				
1	商工費				
4	消費生活費	7,754	0	7,754	
9	消防費				
1	消防費				
1	常備消防費	4,085,632	0	4,085,632	
2	非常備消防費	149,132	0	149,132	
3	消防施設費	154,103	1,700	155,803	消防施設整備費
4	災害対策費	150,404	5,900	156,304	災害対策費
合計		5,243,512	542,205	5,785,717	

市民部予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
補正前の額	5,243,512	226	806,385	72,000	118,169	4,246,732
補正額	542,205	85,000	7,970	317,000	100,000	32,235
合計	5,785,717	85,226	814,355	389,000	218,169	4,278,967

市民部

(3) 事業の説明

一般会計

款 2 項 1 目 10 生活文化費

5 安全対策費

15,000 千円

担当 防災安全課

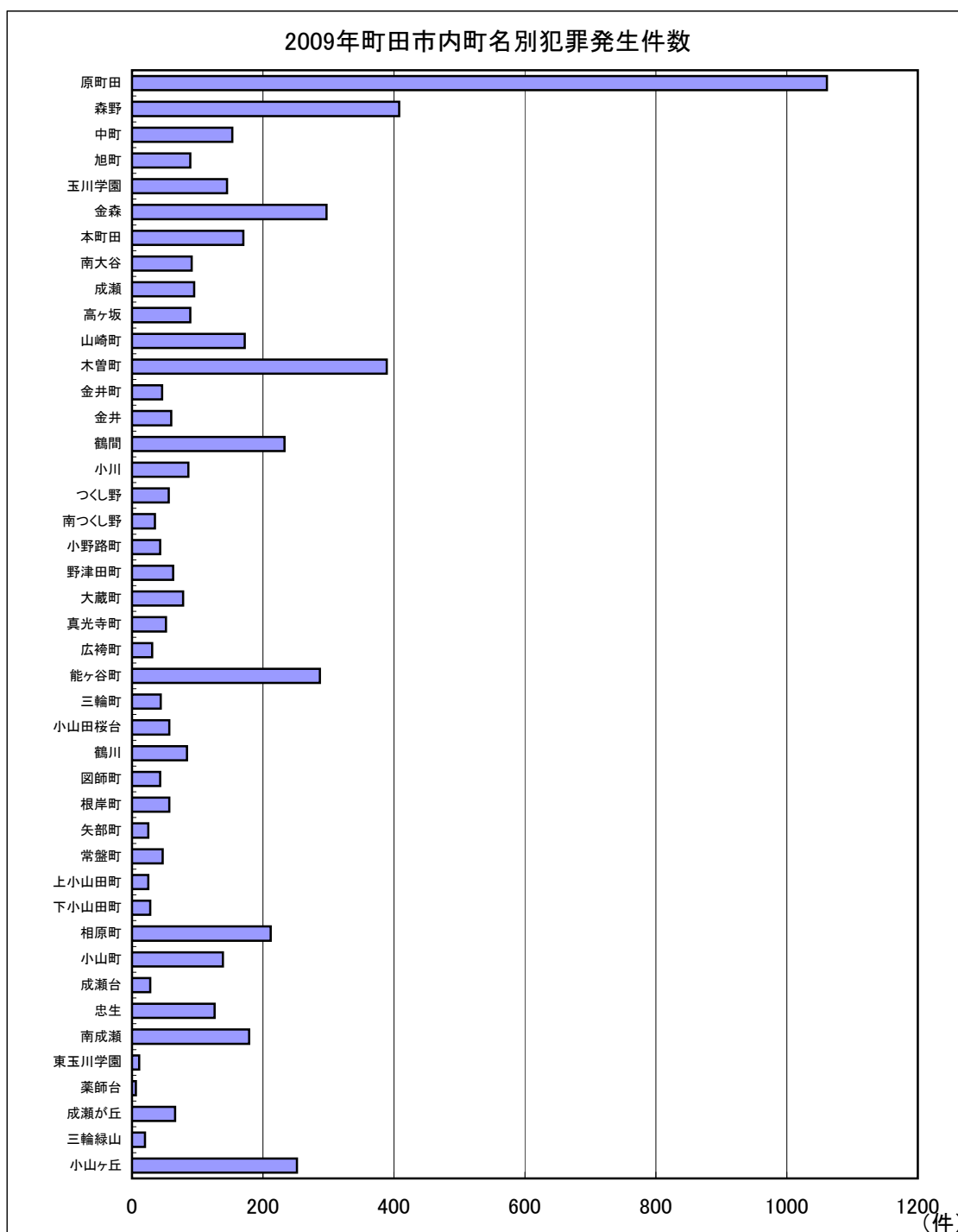
予算書 19ページ

財源内訳

国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
0	7,500	0	0	7,500

不特定多数の人々が集まる繁華街において安心・安全な環境を維持する地域団体の活動を支援するため、町田市内の犯罪発生件数が突出している原町田地区を対象として、防犯設備(防犯カメラ等)の整備に対する補助を実施します。

主な事業費 防犯設備整備費補助金 15,000千円



6 鶴川駅前公共施設整備費 519,605 千円

担当 市民総務課 予算書 21ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	85,000	0	317,000	100,000	17,605

「鶴川駅前公共施設」の建設工事に着工します。平成24年5月の竣工を予定しています。
また、開館後の管理運営に向けて、管理運営計画を策定します。

主な事業費 鶴川駅前公共施設整備工事費 507,884千円
 <<平成22~24年度債務負担行為>>
 管理運営計画策定支援委託料 9,000千円

施設の概要

事業地	能ヶ谷町5006番地
敷地面積	2,060㎡
延床面積	5,886㎡
構造	RC 地下2階、地上4階
主要な機能	ホール(300席)、 図書館(蔵書数 90,000冊)、 コミュニティ施設、駅前連絡所



ホール完成イメージ

2 消防施設整備費

1,700 千円

担当 防災安全課

予算書 31ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,700

火災時の消火活動を円滑・迅速に行うために、消火栓・防火水槽などの消防水利を充実させる必要があります。本年度は平成23年度の防火貯水槽設置に向けて、地質調査を実施します。

主な事業費 地質調査委託料 1,700千円



防火水槽に貯められた水は地震が起きたときの消火用水であると同時に、付近住民の皆様の生活を守る大切な水ともなるものです。



1 災害対策費

5,900 千円

担当 防災安全課

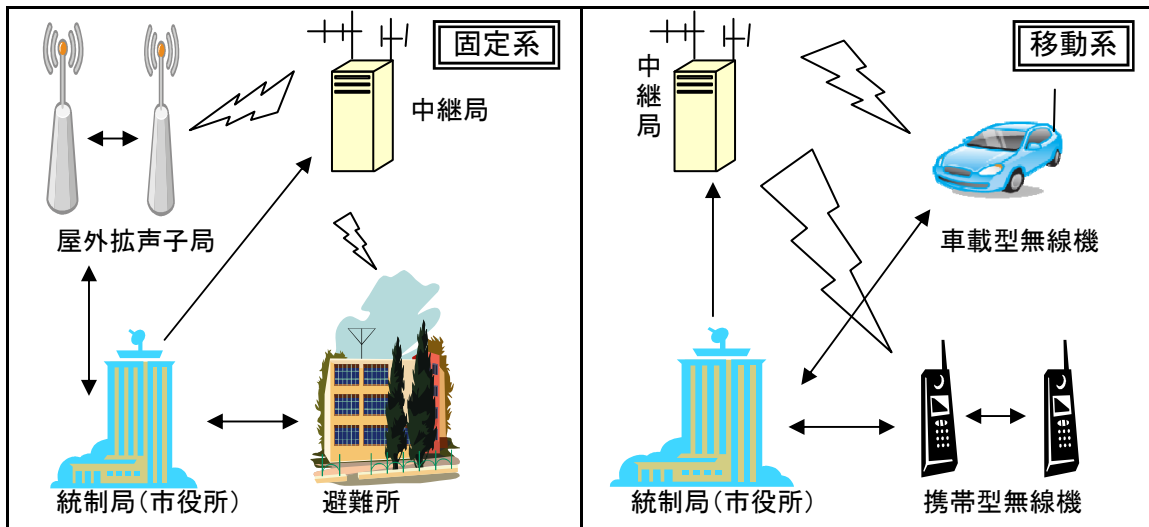
予算書 31ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,900

災害時の情報伝達手段となる防災行政無線をデジタル化するための基本設計を実施します。また、震災時にヘリコプターで救援活動を行うためのランドマークとなるヘリサイン表示を整備します。

主な事業費 防災行政無線設計委託料 3,400千円
ヘリサイン表示塗装委託料 2,500千円

<防災行政無線デジタル化のイメージ>



※ 防災行政無線をデジタル化することで、双方向での通話やデータ・文字・画像等の伝送ができるようになります。



<ヘリサイン表示>

(図師小学校 平成21年度整備)



